

8月23日

タイ副首相が町の農業を視察



タイ王国のポンテープ副首相(写真内左)が本町を訪問し、農業の現場を視察されました。

青少年の国際交流を促進する「日本職業教育視察団」としてタイ政府関係者を伴い来道されたもので、酪農法人ドリームヒルの搾乳設備や西原農場のジャガイモ収穫現場などを見学されました。また宿泊先のぬかびら源泉郷では町主催の懇親会が設けられ、竹中町長や杉山議会議長、小椋茂敏JA上士幌町組合長らと意見交換されました。

8月25日

車椅子清掃ボランティアを実施



上士幌中学校サッカー部保護者の会は、すずらん荘で車椅子清掃のボランティアを実施しました。

ポランティアには部員18名と保護者のみなさんが参加し、保護者の会代表の神田幸人さんは「保護者はすずらん荘に入る機会があまりないので、施設を知ることが良い機会になりました。」と話されていました。

ママ・パパ向け講座を開催



妊娠中のママとパパを対象に、マミーズ・プラザ講座「誕生学とマタニティマッサージ」がふれあいプラザ開催されました。

講座には妊婦さん9名とパパ4名が参加し、誕生学アドバイザーの高田めぐみさんのお話の後、マタニティマッサージの指導が行われました。

高田さんは講義の中で、お母さんがリラックスした状態で出産を迎えることの大切さや、お腹の中での成長が、一生で一番成長する時期であることなどを話されました。

8月31日

嶋木遺跡発掘見学会



今年で4年目となる首都大学東京による嶋木遺跡発掘調査の見学会が開催され、町内外より7名が参加しました。

見学会では、発掘チームリーダーの出穂雅実・首都大学東京准教授よりこの3年間の成果が説明され、これまでに約900点の石器が発掘されたことや、当初は「炉」の痕跡だと思われていた炭が、年代測定の結果、山火事の跡である可能性が高いことなどが紹介されました。

9月7日(土)、町民有志と帯広上士幌会とのパークゴルフ大会が十勝川公園パークゴルフ場で開催されました。

帯広上士幌会の地元との交流事業として初めて開催されたもので、31名による熱戦と交流が行われました。次年度も実施予定だそうです。



8・9月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

した。またこの日は「皮なめし」に使われた黒曜石の石器が披露され、見学者は熱心にその形状を観察していました。

上士幌町防災フェスティバル



9月1日の「防災の日」に合わせ、「上士幌町防災フェスティバル」が上士幌町山村開発センターで開催されました。

この日は災害車両と防災用品の展示や、建設業協会による住宅耐震診断・耐震補強相談会、ボランティアグループ・夢気球による吹き出し実演が行われたほか、帯広測候所の山中予報官と地域防災力センターの河内毅氏による防災講演が行われました。

山中予報官は講演の中で、8月30日よりこれまでの注意報・警報よりも深刻な「特別警報」が新設されたことに触れ「特別警報が出された場合は、ただちに命を守る行動をしてください。」と訴えました。

講演の後には参加者80名によるワークショップ形式の意見交換が実施され、各グループ毎に活発な話し合いが行われていました。

9月1日

第2回「東大雪の道」ウォーキング大会

糠平湖沿いに伸びる線路跡を歩く「第2回北海道自然歩道『東大雪の道』ウォーキング大会」が開催され、20名のウォーキング愛好家に参加しました。

この日は当初予定していた片道8キロ・往復16キ



口のコースが雨の影響により一部使えなくなったことから、メトセツプの三の沢橋梁までの約5キロの短縮コースが設定され、参加者は雨上がりの冷涼な空気の中を列をなして歩きました。

名寄市から夫婦で参加した男性は「昨年から各地で登山やマラソン、カヌーに挑戦しており、今回初めて上士幌町のウォーキング大会に参加しました。ネットで調べたタウシユベツ川橋梁を実際に見られて感動しました。」と話されていました。

地産地消の真髄に触れた一日



「地産地消レストラン」の先駆けとして知られる山形のイタリア料理店「アル・ケッチアーノ」のオーナーシェフ・奥田政行氏が来町し、講演会と料理の試食会を行いました。

講演会では地元・庄内の農家さんと伝統野菜を発掘しながら素材を生かした料理法を考案し、全国から注目されるに至った過程を赤裸々に語ってくれました。

講演会終了後には上士幌や十勝産の食材を使った地産地消メニューの試食会が行われ、集まったみなさんは奥田シェフの人柄あふれる優しい味わいに感動していました。

9月7日

川村組が恒例の清掃ボランティアを実施



株式会社川村組（川村文雄社長）は、ふれあい公園とサクシユオルベツ川周辺の清掃ボランティアを実施しました。

商生涯学習まつりに合わせて毎年行なっているもので、この日は協力会社の社員を含む約30名がゴミ拾いと草刈りに汗を流しました。

9月10日

平成25年度敬老会



平成25年度敬老会が山村開発センターで開催され、百寿（100歳）、米寿（88歳）、古稀（70歳）を迎えられたみなさんをお祝いしました。

この日は対象者118名のうち44名が出席し、100歳以上の長寿者2名に花束と祝状が、88歳・70歳のみなさんに敬老祝金が贈られ、100歳以上の長寿者紹介と昔の町の様子を振り返るスライドショーや、フラサークル「モアナ・ラニ」と上士幌保育所園児によるダンスが披露されました。

今年は学童保育所の児童から、日頃の感謝と長生きの願いを込めたメッセージカードと鶴・亀の折紙も贈られ、出席されたみなさんは大変喜ばれていました。



地産地消料理レシピ

農林商工の連携による特産品の開発・商品化の支援の一環として、平成25年2月4日に料理研究家・馬場香織氏を講師に招いて地産地消料理試食会を開催しました。

その際に試食した料理を不定期でご紹介します。

材料 (8人前)

- お米3合を炊いたもの ●牛肉薄切り…300g
- 長いも…200g(1センチ角)
- ゴボウ…250g(1センチ角)
- 鷹の爪…1本 ●万能ねぎ…1束
- 醤油…120cc ●酒…30cc ●砂糖…小さじ2
- 胡椒…少々 ●水…200cc
- ごま油…大さじ1

作り方

1. 鍋にごま油を熱し、長いもを強火できつね色に炒める
 2. ゴボウを加え同じようにきつね色がつくくらいに炒める
 3. 鷹の爪・牛肉も入れよく炒め、調味料を入れる
 4. (3) が煮詰まったら味を調べて炊きたてのご飯に混ぜる
- ※ゴボウと長いもは炒めるといい香りが出ます。

牛肉とごぼうのご飯



▲地場産の牛肉や長いも、ごぼうを使ってみましょう

町では、農林商工連携による新商品の開発に対して支援を行なっています。
詳しくは役場商工観光課商工担当(内線241)にご相談ください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



9月11日(水)に上士幌高校で生徒会立会演説会が行なわれた。今回は一年生が7人、2年生が7人の計14人が立候補し、どの立候補者も心に響く演説をし、それぞれの意気込みを熱く語った。

生徒会は今年度から書記と会計が1名ずつ増えて会長1名、副会長2名、書記4名、

計4名、会計監査2名の13名で構成されることになった。会計は一年生4人と2年生1人の計5人で4枠を争う形となった。

今回の選挙について会計に立候補した2年生の丹羽亮介君は、「自分は緊張したけどよい経験となる選挙演説会だった。みんなも一人ひとり個性のある演説をしていて今年度も全体的にレベルの高い演説会だった。」と話してくれた。

誰が当選したのかはまだ分からないが、全員当選しても良いほど熱のこもった演説会だった。立候補者にとって良い経験になったと思う。

9月11日(水)
それぞれの思いを語る

文責 蟹谷 瑞希

町民(文)芸

川柳

短歌

長雨の止みて朝の清々しペダルを踏みて町を行きたり
 台風之余波にて雨の強く降る六花の森に「はまなし」群れて
 此の町に住みて七十年敬老会に若き日の街の映写になつかし
 敬老祝の紅白の饅頭食みおりて施設の夫を思い淋しく
 窓をあけ朝の臥床に目閉づればあるかなしかのかぜ吹きとほる
 暁け方は少し明める空ながら今日は雨とふ空をみてをり
 収穫を終えてゆっくり湯にひたり
 秋の道ある人想い歩いてる
 秋だからくだものお肉おいしいな
 健康のためにと歩く四十分
 待っていた秋の味覚に舌つつみ
 秋感じ歩幅を広くウォーキング
 病床の母へ笑顔と思いやり
 あら不思議原発止めても明々と
 菜園で老いの体力持ちこたえ
 太陽が一気に落ちて以下余白

白坂桜大小齊米高米鈴
 石田戸池藤森木森木
 いさ子花ト由敦博誠真
 馨子絵クヨ希子樹也弓豊
 本高石
 間木川
 栞慶裕
 風子子

吉

平成25年8月末現在の人口

男 2,456人(先月比-5)
 女 2,582人(先月比-4)
 計 5,038人(先月比-9)
 世帯数 2,355世帯(先月比-5)

寄付

▶帯広信用金庫上士幌支店は、8月20日に町の振興資金として金1万円を寄付されました。

一ふるさと納税一

▶各・金1万円…小林正信さん(東京都)、勝間田賀章さん(静岡県)、野本哲嗣さん(福岡県)、鈴木秀幸さん(静岡県)、宮田貴志さん(岡山県)、伊藤剛さん(東京都)、堀哲さん(札幌市)、岸直弘さん(東京都)、與儀一三さん(大阪府)、野村栄藏さん(神奈川県)、田代哲也さん(千葉県)、大木雅登さん(岡山県)、川田和弘さん(神奈川県)、門田憲一さん(東京都)、朝井廉さん(和歌山県)、鎌田晴美さん(広島県)、脇田安祥さん(愛知県)、古賀通利さん(本別町)、三吉明さん(東京都)、西村裕之さん(埼玉県)、鄭則秀さん(大阪府)、川原真澄さん(東京都)、前川悠樹さん(大阪府)、滝沢義唯さん(岡山県)、片倉祐一さん(東京都)

▶各・金2万円…緒方大助さん(大阪府)、森喜一さん(大阪府)

▶金7万円…岡田大輔さん(大阪府)

▶金10万円…山口進一郎さん(神奈川県)

お詫びと訂正

- 川田守男さんのお悔やみの掲載が遅れたことをお詫び申し上げます。
- 先月号内の議会だより第160号P3、山本弘一議員の一般質問内にある平成24年度生産額見込みの表記に誤りがありました。
 (誤)52億以上 → (正)152億以上
 訂正しお詫び致します。



編集後記

紙9月の連休を利用して東北地方を旅行してきました。紙旅の前半では三陸海岸の雄大な景色が見られました。紙20年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京になりましたね。いろいろな業種が大会までの間、活発になりますよね。ちょっと楽しみです。紙先日、野球にがんばっている中学生の甥っ子が自分も楽しみと意気込んできていました。(2020年の彼は21歳。ちょうどいい年齢だと感じていたようです。がんばれ！甥っ子!!・・・K)

広報 **がみしほろ** 11月号は 10月25日(月)発行予定